

令和7年度第1回 羽村市立武蔵野小学校コミュニティ・スクール委員会会議録

1 日 時	令和7年6月5日（木曜日）午後5時
2 場 所	羽村市立武蔵野小学校 会議室
3 出席者	<div> <div> 会長 大橋 徳久（西東京リサイクルセンター 取締役） 副会長 山田 竜也（羽村市武蔵野小学校 PTA 前会長） 委員 松崎 博満（エコネットはむら 会長） 推進委員 松原 邦宜（㈱ミタカロジスティクス 取締役） </div> <div> 校長 府金 博之 副校長 蜂須賀 健太 羽村市役所生涯学習部 学校教育課指導係長 小泉恵美 （敬称略） </div> </div>
4 欠席者	委員 山本 一代（チューリップ保育園 理事長）
5 議題	(1) 令和7年度学校経営方針について (2) 令和7年度武蔵野小コミュニティ・スクール委員会の活動について
6 傍聴者	無し
7 配布資料	・令和7年度 羽村市立武蔵野小学校 学校経営方針＜グランドデザイン案＞（前回提示済み） ・武蔵野小コミュニティ部隊（仮）登録者一覧表（前回揭示済み） ・むさしのコミュニティ部隊（仮）登録の御礼と今後の活動について（資料 A） ・武蔵野小学校読書旬間（1 学期）保護者・地域による本の読み聞かせ計画表（資料 B） ・“むさしの”夜の学校探検の流れ（案）（資料 C） ・掲示板イメージ図（資料 D）
8 会議の内容	(1) 令和7年度学校経営方針について <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが自信をもって行動できるように、引き続き様々な角度からの取り組みを続けていく。 ・地域人財を活用した授業の充実については、取り組み内容を明確にし、一步一步確実に実践していく。これからの更なる取り組みが必要である。 ・読書の習慣化に向けて取り組みを強化していく。 ・継続して学習を続ける姿勢や、むさしのリーダーシップの習慣を身につけていく態度を着実に身につけさせていく。 (2) 令和7年度武蔵野小コミュニティ・スクール委員会の活動について (2) の内容については以下の通り

『前年度から今年度5月までの約1年間の活動を冷静に振り返り、令和7年度に実践する取り組みを明確にしていく話し合い』

大切なポイント 「話し合ってきたことを具現化した取り組みの結果について、効果の高い点は何か、対応が難しかった点は何かを冷静に見つめ直し、今年度実施していく活動が、より確実で子供たちにとって価値の高い取り組みになるように、話し合いを深める。」



前回会議の再確認を行う。

地域人財を活用した1年生「昔あそび」については、コミュニティ・スクール委員会としても大切な授業実践だった。この活動が、今後の手掛かりとなる。

- ・子供たちにとっても、また地域の皆さんにとっても、大きなプラスの効果（大勢の地域の人に教えてもらい、嬉しかった！元気な子供たちから、たくさんパワーをもらえた！）がある取り組みとなった。
- ・子供たちにとっても、保護者・地域の皆さんにとっても、両者が「大変良かったな！」という充実感を味わえる取り組みを考えていく必要がある。

今年度、学校全体として、より充実した地域人財活用授業をすすめていくためには、どのような手立てをとることが必要だろうか。

- ・「このような授業を実践したい」という、先生方が考えている“子供たちのために授業の幅を広げたい”“質を高めたい”という気持ちを広げてあげられるよう、支援する。
- ・1年生～6年生、むさしの学級等、先生方とコミュニティ・スクール委員との話し合いの場を設定していく。
- ・先生方との話し合いをもとに、地域人財が必要な授業実践の時期を、なるべくはやく把握する。（適した地域人財を探す・頼む・集める時間をしっかりと確保する。）

令和7年度、武蔵野小コミュニティ・スクール委員会として取り組む活動を明確にしよう！

○活動Ⅰ

- 1学期の読書旬間（6月17日（火）～27日（金）朝の時間8：20～8：30）の時に、子供たちに対し、保護者・地域の人による本の読み聞かせを行う。協力者の人数にも寄るが、期間中に、1回でもよいので子供たちに語り掛ける機会をつくる。

《1学級（約30人）の子供たちに読み聞かせを行う形式にする》

この活動を、2学期以降拡大していきたいと思う。

○活動Ⅱ

- 夏の夜の学校探検（お化け屋敷??）

保護者の皆様のご協力を得ながら、静かで暗い学校を味わってもらう行事を企画する。子供たちを楽しませてあげるアイデアを多くの人と一緒に話し合いながら進めていけると良い。

※学校探検後に皆で一緒に楽しめる催しがあると良いかな！

※中学生が関われる取り組みもあると良いかな！

※時期は、8月後半で学校（2学期）が始まる直前が良いかな！



○活動Ⅲ

- 学校教職員とコミュニティ・スクール委員で、地域人財活用の授業づくりを相談し、より子供たちが輝ける授業実践について話し合いの場をつくる（1～6年、むさしの学校）。授業形態が明確になったら、実現に向けて人財協力の動きを迅速にすすめていく。

○活動Ⅳ

- グリーンカーテンづくりの継続

温暖化対策のひとつとして、パッションフルーツを育てる活動を行うが、学校が休みに入る暑い夏の水やりは、学校関係者だけでは苦しい面があるのは間違いない。今年度だけではない大きな課題なので、先を見据えた策をしっかりと考えていく。

○活動Ⅴ

- 2学期途中ぐらい（暑さが少しおさまってくる時期）から、土曜日の午前中2時間程度、子供たちに校庭を開放して自由に遊べる空間をつくる。自由と言っても安全面の配慮が必要なので、見守りを行える体制をつくる必要がある。（まずは年に2～3回程度）

武蔵野小コミュニティ・スクール委員会が行う活動を広く知ってもらう意味で、学校入り口掲示板にコーナーを作ってもらい、活動が大勢の方に見てもらう場を作っていきましょう。



子供たちの為の活動という大原則を決して忘れず、身近なひとつひとつの小さい活動を大切にしていきましょう。



まだまだ十分に理解されていないところもたくさんあるけれど、子ども達のために何かやってあげたいという方は大勢いらっしゃるの、その方たちの思いを、ひとつでも、ふたつでも大切にひろいあげていきましょう。

よろしくお願いします

